

音を感じて・見て・作って

担当：北村 敏也

時間：午前9時～12時

会場：A1号館2F ものづくり工房

会話を楽しんだり、音楽を聴いたり、唄を歌ったりと、普段皆さんは特に気にすることなく音を利用したり楽しんだりしています。そんな身近な音ですが、目には見えないので、音の本当の姿はあまり知られていません。

そこで、このイベントでは、身近なもので音を見えるようにしたり、楽器から音が出る仕組みを考えたり、簡単な楽器の工作をしてみたいと、僅かな時間ですが音の不思議を体験してみたいと思います。

魚洗鍋

魚洗鍋は、中国で占いに使われる鍋です。鍋の両側につけられた取っ手をこすると、あら不思議、鍋の中の水が波立ち、いずれ鍋から水玉を吹き出すのです。勢い良く水が吹きあがると、これからの運気が急上昇するそうです。皆さんも魚洗鍋で運気をあげてみませんか。



グラスハーブ

水を注いだワイングラスの縁をやさしく撫ぜると、きれいな音が響きます。水の量を調整すると、音の高さを調整できますので、いくつものワイングラスを並べると美しい音楽を奏でることができます。

音を出すコツは、手を良く洗っておくことと、ちょっと湿らしておくこと。音を出すテクニックを覚えると、フランス料理屋さんでも試したくなってしまうかも…



風船レンズ

お祭りで買ってもらった風船を耳元に付けると、何となく不思議な感覚になったことはありませんか？風船の中のガスの違いにより、風船は音を集めたり拡げるレンズになったりします。風船レンズを耳で試してみてください。

この写真みたいに風船に囲まれると、音はどんなふう聞こえるのでしょうか。

この実験では、何と風船のプレゼントつき。



ウインドチャイム

ウインドチャイムは、日本語で風鈴。長さの違う金属棒を吊して軽くたたくとききれいな音が聞こえてきます。

音は、ものが振るえて、その振るえが空気に伝わって耳に聞こえてきます。金属棒の長さを変えると、振るえの速さが変わり、きれいな音色を作るのです。長さの違う金属棒を使って、オリジナルなウインドチャイムを作りましょう。

